

# 白鷺教育会 明石支部 だより

発行  
白鷺教育会明石支部  
令和4年12月15日(木)

## 次代を担う人材の育成を

明石市教育長 北條 英幸

平素は明石市の教育にご理解とご協力いただきまして、ありがとうございます。

さて、現在の世界情勢、本当に先行き不透明な状況です。約3年前から続く世界的な新型コロナウイルス感染症拡大はもちろん、ロシアによるウクライナ侵攻、東アジアの緊張状態等、先々どうなるかわからない状況です。日本も同様の状況かと思えます。日本の教育につきましても課題が山積されています。GIGAスクール構想による教育のICT化、中学校部活動の地域移行等、今までの常識で進めていくにはなかなか難しい課題が多々あります。今後も急激に変化しながら、予想できない状況が続くと思われまます。

そのような状況でも、我々は次代を担う人材である児童生徒を育てていかなければなりません。その児童生徒に直接かかわるのは、学級担任をはじめとする教員です。教員が確かな人権感覚を持ち、卓越した教育知識及び経験に基づき、柔軟に児童生徒の育成にあたらなければなりません。しかし、教員がそのような資質をはじめから持っているということは、なかなか難しいかと思えます。そこで必要となってくるのは教員の『育成』です。学校の管理職の方々が、意図的に教員の育成を行っていくことが大切かと思えます。もちろん、市教育委員会におきましても指導主事が日々の業務の中で、学校の教育課題を認識して対応するよう指示しております。学校に寄り添い、少しでも良い方向へ向かうように、教育の本質を忘れないように指導主事に伝えております。将来、指導主事が学校に戻った時、適切に諸課題に対応し学校運営にあたるよう、日々の業務を通して学ぶようにも指導しております。

一方で日本全国において「学校の職場環境がブラックである。」という報道が多々されるようになり、教員を目指す人材が減っていると言われております。あわせて、教員不足も聞こえてきております。このことは市教育委員会としましても、大きな課題として認識しております。このような状況は早急に改善しなければなりません。特効薬があるわけではありません。このような厳しい状況下で教員になった新規採用者はもちろん、経験年数の浅い教員の育成が大切になってきます。その教員を育成するには中堅教員の存在が大切になります。中堅教員へ指示を行い、育成していくのは管理職の大切な役目かと思えます。管理職が確かな人権感覚をもち、卓越した教育知識及び経験を持って人材育成をすることで、教員が育ち、その教員が育てる児童生徒が、日本の未来を担っていくということが理想の流れです。地道な取り組みが、状況改善の一つになるかと思えます。

管理職を目指す教員が残念ながら減っているとも聞きます。白鷺教育会の皆様には教育の魅力や大切さを教員はじめ、様々な方々に是非伝えていただけたらと思えます。白鷺教育会の今後のさらなる発展をお祈りし、会員の皆様のご活躍を期待しております。





## 教育現場は今～幼稚園より～

明石市立大久保南幼稚園  
園長 近藤 猛

明石市の公立幼稚園は大きな変化の時期を迎えています。2016年3月策定の「明石市立就学前教育・保育施設再構築基本計画」では、当面は①中学校区に1園のこども園（13園）を整備、②市立幼稚園の民間移管・廃止（6園）、③市立保育園の民間移管。将来像は①市立幼稚園及び市立保育所は全て認定こども園に移行、②認定こども園に移行しない市立幼稚園及び市立保育所は民間移管・廃止とされていました。しかし、策定後、就学前人口の増加、待機児童数の高止まり、市立幼稚園の「預かり保育」、3歳児保育及び給食の実施、幼稚園のニーズ増などの状況の変化により、再構築計画が見直されることになり、本園は今年4月にモデル園として二見北幼稚園とともに「幼稚園型認定こども園」の認定を受けました。幼稚園をベースとした施設であり施設改修が不要であるほか、利用者にもデメリットなく移行できました。そして、従来の「一般枠・就労枠」から「1号認定（幼稚園部分）・2号認定（保育所部分）」とされたことで、利用者がわかりやすくなるとともに、就労状況の変化にかかわらず利用が継続できるようになるなど利便性の向上も図られました。3年前は、就労枠（現2号認定）が約6%でしたが、今年度は、2号認定が約36%と増加しており、今までとは違った課題が出てくるものと思われます。

幼稚園現場では、表面上大きな変わりはなく小学校教育との円滑な接続を図ることを基本的なねらいとした幼稚園教育が展開できています。今年度、さらに3園が「幼稚園型認定こども園」に移行します。公立幼稚園が認定こども園として存続できることは、明石市の子どもたちにとっても明石の教育現場にとっても明るい方向であると考えています。

## 教育現場は今～小学校より～

明石市立人丸小学校  
校長 藤田 靖

コロナ禍における学校行事の実施状況・ICTを活用した学習活動について報告します。

- 1 修学旅行：5月下旬から12月初旬にかけて、全小学校で実施しました。感染防止対策として、各訪問先での手指消毒を徹底するとともに、半数の学校が交通手段としてバスを選択しました。延期するか否か、決定が難しい時期もありました。
- 2 自然学校：5月初旬から10月中旬にかけて、2泊3日の宿泊と2日の体験活動（市内統一）として全小学校で実施しました。感染防止対策として、一部屋の滞在人数を従来より減らしたり、個別に就寝できる保健室を多めにとったりしました。
- 3 体育大会・音楽会：実施内容や参観人数について違いはあるものの、時間を分けて分散開催としました。多くの学校で参加人数を各家庭2名までとしました。
- 4 ICT環境を活用した学習活動：全児童が市から貸与されたタブレット端末を使って、インターネットの情報探索、学習支援ソフトの基本操作、キーボードによる文字入力、写真や動画の映像メディアの活用等の基本的な技能を身につけさせています。また、これまでの授業にICT機器（タブレットやプロジェクター等）を効果的に取り入れ、課題や目的に応じて必要な情報を収集し、表やグラフ等を用いて、わかりやすく発信する力やプログラミング的思考を育てています。発達段階に応じて、情報モラル教育を推進し、情報手段を使う上での判断力や心構えを身につけさせています





## 教育現場は今～中学校より～

明石市立大蔵中学校  
校長 山脇 裕

### 1 「みんなが選べる明石の制服」について

令和5年4月からの導入に向けて、すべての生徒が快適に、自分らしく学校生活を送るために、自由な意思により選択できるものとしています。デザインは次のようになっています。

「濃紺の男女兼用ブレザー、濃いグレーのチェック柄のスラックス・スカート」「みんなが選べる明石の制服を考える会」では、意見交換やアンケートの結果などを踏まえ、「着替えやすさ」「動きやすさ」などの機能性を備え、洗濯が可能なものとししました。販売価格も保護者の経済的負担の軽減のため、抑制するよう要望しています。今年度の10月から制服のサンプルを各小学校に展示して、児童や保護者に見てもらっています。

### 2 「部活動」について

総体も新人大会も、コロナ対応で出場選手のみでの参加となり、体調管理のチェック表の提出や保護者の人数制限もあり、上級生の試合を下級生が観戦して学ぶことができず、伝統を伝えることが困難になっています。また、保護者にも満足いく観戦ができていません。

日常の練習は、密になることを避け、時間制限も設けています。マスク着用は、強制はせず各自に任されています。夏場は熱中症にも気を付けてWBGTの数値に気を付けています。

スポーツ庁及び文化庁は2025年までの3年間を、休日部活動の段階的な地域移行の集中期間としていますが、問題は山積みです。

## 【3部会での話し合い ～第2回評議員会にて～】

2022.9.27 (火) 18:30 ウィズ明石7階 研修室

### <総務部>

#### 1 明石の教育を発展させる人材育成について

(1) 入会をいざなう文書(2種)を活用しての、白鷺教育会会員の学校長による若手教員等への勧誘を実施する。

##### ①「白鷺教育会明石支部とは」

白鷺教育会及び白鷺教育会明石支部の概要 白友会研修

##### ②「白鷺教育会『明石』へのいざない」

入会のメリットや魅力(教員の生涯学習システム支援)の紹介

・自己研鑽の場 ・管理職の立場に必要な資質・能力を磨く場

・大先輩の校長先生方や共に学ぶ会員同士のつながり

(2) 会長による学校訪問を通しての勧誘を実施する。

#### 2 会費納入について

(1) 納入状況

9月末現在 非現職 66% 現職 87%

本来は支部総会開催時に納入をお願いしているが、3年間開催されていないこともあり、納入率が低い現状がある。

(2) 今後に向けて

来年度以降は会費納入について意識化できる工夫を考えていく。

※未納の会員の皆様、会費納入をよろしくお願いいたします。



## < 研 修 部 >

### 1 現職研修会

現状では新型コロナウイルス感染症対策の徹底と会員相互の交流は、両立させにくい状況がある。大人数を一堂に会しての研修はまだ安全とは言えず、現時点での実施は困難であり、断念せざるを得ない。今後、現職会員がどのような研修を望んでいるのか、アンケートを実施し研修内容及び講師を選定していきたい。



※アンケート案は第3回評議員会で研修部長が提案予定

### 2 新年交歓会

今冬は新型コロナウイルス感染症とインフルエンザウイルス感染症の爆発的な流行が予想される。そのため、飲食を伴う会合や親睦交流を深めるための会話を伴う交歓会及び懇親会の実施は困難である。→第2回評議員会で中止を決定した。

### 3 白友会の研修

開始時期は、明石市の選考試験の日程の6月中旬から考えると、年度末で多忙ではあるが3月から準備を始める必要がある。内容は、市・県の選考試験に向けて見通しを持つことができるよう、論文、法規、面接、教育課題、スピーチ等とする。

<参考>令和4年度白友会

1 内容 法規2回、論文5回、教育課題2回、面接2回、スピーチ1回 計12回

2 実施日 3/1.8 4/26 5/10.17.24.31 6/7 7/5 8/2 10/25 11/8

3 時間・場所 18:30~20:00にアスパア明石ウィズ明石7階研修室

### 4 組織改編に係る一考察

以前、会長からもご指摘いただいたが、現職研修会、非現職研修会、白友会研修会という3つの研修会担当として研修部が組織されている。「明石にふさわしい管理職を育成、輩出することが白鷺教育会明石支部の重要な使命」であるならば、現状では研修部員にかかる負荷があまりにも大きい。研修部の体制を再考し、育成研修部（仮称：明石を担う管理職候補者の育成）と教育研修部（仮称：一般的な教育課題等について学ぶ機会を提供する）の2つに編成し直す必要があるのではないか。

## < 広 報 部 >

### 1 現状から考えた広報誌のあり方

A3両面刷り（A4、4P構成）とし、印刷は、担当者の負担を減らすため業者委託で行う。記事は現場の動向・評議員会の協議内容が伝わるようなものとする。

### 2 昨年度検討していたHPの開設については、持続可能な体制に構築について再検討する必要があるため、一旦保留とする。

## 新規入会者紹介

明石市教育委員会学校教育課主任指導主事 今市 伸 先生

明石市立大久保小学校主幹教諭 山本 聡 先生

明石市立貴崎小学校主幹教諭 金田 雪絵 先生

明石市立大久保小学校教諭 大友 公智 先生

以上の4名の先生方を、共に学ぶ新しい仲間としてお迎えしました。